

2004長井市防災訓練

平成 16 年 10 月 31 日西根小学校グラウンドにて長井総合防災訓練が開催された。23 日夕刻発生した新潟県中越地方の地震は、いまだ余震が治まらず被災者は過酷な生活を強いられている。自然災害は決して人事でない。今年は台風の当たり年、23 号の被害は兵庫県豊岡市を中心に甚大な被害をもたらした。

自然災害に備え、今年の防災訓練はいつにもまして真剣な取り組みで進められた。

午前 8 時 30 分訓練開始、正午まで地域消防団を中心に

近隣消防団の協力も得て進められた。



西根小学校児童による避難訓練が整然と行われた後、小学生・地域住民による「初期消火訓練」が行われた。ガスコンロの上でてんぷら油を燃やし、粉末消火器で消化する訓練だ。

てんぷら油による火災は、これまでもたびたび発生している。阪神淡路大震災でも同時に十数か所から火災が発生し大規模な災害に見舞われたことの記憶は新しい。バケツによるリレー消化も行われた。参加した児童も真剣なまなざしだった。



長井消防団第三分団による「水防訓練」です。水防信号の説明の後、積み土工法と、シート張り工法の訓練が開始。河川が増水し、堤防の崩壊を防ぐために堤防を越えてくるような場合に土のうを積み上げる。シート張り工法は、堤防の崩壊を防ぐためのもの、堤防が崩れ始めたり、通水し始めたときシートを張って堤防の損壊を防ぐ工法だ。



「応急手当訓練」を体験する子供たち、救急車が来るまでの時間をいかにすばやく適切な応急手当が出来るかによって、これ以降の状況に大きな影響を与えます。また消火器の説明もあり、説明を聞いた住民は認識を新たにしていました。



「消防防災ヘリ救助訓練」この訓練は負傷した人が西根小学校屋上に取り残されたという想定で行われた。この日はまだガスがかかっていたため、心配そうに見守った。負傷者をヘリコプターで吊り上げ救助し、医療機関まで搬送する訓練で、ヘリ隊山形「もがみ」から訓練現地本部西根小屋上から無事救出。
「道路障害物除去訓練」は道路に倒木があるという想定で、その除去作業の訓練が行われた。



火災防御訓練の様子



「火災防御訓練」この訓練は、地震により西根小学校で火災が発生したことを想定し、延焼を防ぐために防御線を設定し消火活動に入るといもの。

「上下水道施設復旧訓練」「LP ガス漏応急処置訓練」LP ガス配送中地震によって車上からガスボンベが転倒し、LP ガスが噴出したという想定。水道パイプが破損し応急復旧が必要となり上下水道本官を復旧し水道水の供給を図る訓練。



「炊き出し、給水訓練」

大規模な地震により食事を確保できない被災者に食料と水を供給するものです。炊き出しはトン汁とおにぎりで参加者や見学に来ていた人たちに振舞われました。

最後は、分列行進で終わりましたが、新潟の中越地震は決して人事でなくいつ起きても不思議が無い災害に備え訓練が必要だ。